



反貧困ネットワーク・NPO法人自殺対策支援センターライフリンク共催

自殺と貧困から見えてくる日本

～生きていてもいい。つながりから広がる私達ができること～

現在日本では「もう生きれない」と自らのちを絶ってしまわれる方々が12年連続で3万人以上いらっしゃいます。自殺者の多くが中高年以上の無職者であること、生活困窮者であることを考慮すると、貧困問題と自殺問題の根っこは同じものがあると考えられます。貧困問題と同じく、自殺問題を正面から考えることは、私たちひとりひとりが「どのような社会を望み、どのような生き方をするのか」という問題でもあります。今回のシンポジウムでは、自死遺族の立場、自殺未遂者からお話を聞かせていただくと共に、自殺総合対策の提唱者・貧困問題の第一人者の方々をパネリストに迎え、「自殺と貧困から見えてくる日本」というテーマについて、それぞれの立場から意見を伺います。そして、この国のあるべき姿についても語りつつ、会場の皆さまと共に、「私たちにも出来ること」について考えてみたいと思っています。身近にある自殺・貧困問題に関心のある方、そして「生きづらさ」を抱えている全ての方々に、私たちのシンポジウムへの参加を呼びかけます。

- 日時：平成22年3月10日（水）17:30 受付開始 18:00 開始 / 20:40 終了予定
- 17:30 受付開始 開場
 - 18:00 シンポジウムの趣旨説明・自殺と貧困に関する映像紹介
 - 18:20 自死遺族・未遂者当事者発言
宇都宮健児・反貧困ネットワーク代表挨拶（調整中）
 - 19:00 長妻大臣挨拶・パネルディスカッション（会場の皆様と質疑応答あり）

パネリスト

福島みずほ(20時頃から)・内閣府自殺対策特命担当大臣
香山リカ・精神科医・立教大学現代心理学部映像身体学科教授
清水康之・内閣府参与・NPO法人自殺対策支援センターライフリンク代表
湯浅誠・反貧困ネットワーク事務局長
コーディネーター 中下大樹（僧侶）

20:40 終了予定

- 場所：日本教育会館3階（一ツ橋ホール）
〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋2-6-2 電話 03-3230-2831

■参加費：500円（カンパ歓迎）

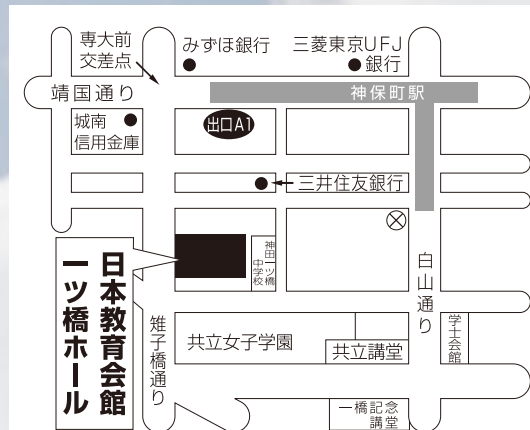
■定員：800名

- 申し込み：①お名前 ②所属(ある方のみ)③連絡先をご記入の上、下記担当までメールかFAX（03-5272-2401）でお申し込みください
- ※大変申し訳ございません、会場の都合上、車いすスペースに限りがございます。事前申し込みにご協力をお願いいたします。
 - ※いただいた個人情報は、本シンポジウムの申し込みの確認以外では使用致しません。

- 問い合わせ：反貧困ネットワーク事務局
〒162-0814 新宿区新小川町7-7 NKBアゼリアビル202
反貧困ネットワーク・自殺対策ワーキングチーム
中下大樹 nakashita@athena.ocn.ne.jp (080-1138-1971)
山本 創 yamamoto@dpi-japan.org (090-6193-1232)

■情報保障：要約筆記と手話通訳有り

■当日配布資料：自殺や貧困問題など困った時の相談先リスト一覧を配布します



- 地下鉄都営新宿線・東京メトロ半蔵門線 神保町駅（A1出口）下車徒歩3分
- 地下鉄都営三田線 神保町駅（A8出口）下車徒歩5分
- 東京メトロ東西線 竹橋駅（北の丸公園側出口）下車徒歩5分
- 東京メトロ東西線 九段下駅（6番出口）下車徒歩7分
- JR総武線 水道橋駅（西口出口）下車徒歩15分